

第5回 重要文化財(建造物)旧札幌控訴院庁舎 耐震・保存活用計画検討委員会 概要

1 日 時

令和7年1月8日(水) 13時30分から15時30分まで

2 出席者

(1) 委員

- ・ 角 幸博 (北海道大学名誉教授、NPO法人歴史的・地域資産研究機構代表理事)
- ・ 菊地 優 (北海道大学 大学院工学研究院 教授)
- ・ 木村 勉 (長岡造形大学名誉教授)
- ・ 花里 利一 (神奈川大学客員教授・三重大学名誉教授)
- ・ 八木 真爾 (株式会社佐藤総合計画取締役)
- ・ 都築 一雪 (札幌市都市局建築部長)
- ・ 米森 正貴 (札幌市市民文化局文化部長)

(2) 耐震診断・保存活用計画策定業務 受託者 (株式会社 文化財保存計画協会)

- ・ 巨銀 俊介
- ・ 湯本 桂
- ・ 細川 道夫 ほか2名

(3) 事務局

- ・ 高橋 亮 (市民文化局文化部文化振興課長)
- ・ 田中 孝恒 (市民文化局文化部文化振興課資料館担当係長)
- ・ 小島 宏美 (市民文化局文化部文化振興課施設担当係長)
- ・ 水野 知明 (市民文化局文化部文化振興課施設担当係)
- ・ 福井 直樹 (市民文化局文化部文化振興課施設担当係)

3 議 題

- (1) 保存活用計画のまとめと今後の更新について
- (2) 耐震補強の検討の方向性

4 議 事

(1) 開会

- ・ 事務局(高橋文化振興課長)の司会進行により、委員全員の出席を確認した。

(2) 前回のふりかえり

- ・ 第4回委員会で聴取したご意見に対する対応案のご説明。

(3) 保存活用計画のまとめと今後の更新について

- ・ 第1～6章のポイント及び付属資料の構成を説明し、各委員からご意見を聴取した。

(4) 耐震補強の検討の方向性

- ・ 非破壊検査を活用した施工方法の例示、補強案の検証方法について説明し、各委員から意見を聴取した。

5 総 括

- ・ 耐震補強方針の確定は次年度以降に持ち越し。現在検討中の補強案の効果検証が必要との委員からのご意見を踏まえ、次年度に構造実験等の追加検討を実施する方針とした。
- ・ 保存活用計画は、価値の設定・保護の方針・活用方針の素案を作成。次年度は、バリアフリー化や設備改修など、活用に必要な具体的な整備手法について、耐震検討と並行して進めることとした。

【閉会】